2022/11/30

【新庄信用金庫　SDGsへの取り組みについて】

＜SDGs(持続可能な開発目標)とは？＞
SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals　持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。
これは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた活動そのものが、CSRや、持続可能な開発目標（SDGs）に対する活動に結び付いております。

SDGs番号	SDGsの目標	当金庫の取り組み
貧困	**貧困をなくそう** あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	・職員によるファイナンシャル・プランニング活動 〔2006年5月～〕 ：2級FP技能士資格合格者　49名 （総合職に該当する職員数比　2022年3月時点　75.38%） ：1級FP技能士資格合格者　　5名 ・地元小学生向け金融教育講座 〔2007年以降随時〕
飢餓	**飢餓をゼロに** 飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する	・農家の収入増のためのソーラーシェアリング普及啓発活動　〔2018年11月～〕 ・国産落花生の地場産業化事業推進（日本財団より1,000万円助成）　〔2019年7月～〕 ・「大豆による代替肉」の加工食品事業への支援　〔2021年8月～〕
保健	**すべての人に健康と福祉を** あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	・地方自治体、福祉施設等への車いす寄贈（毎年寄贈） ・赤十字献血活動への協力 山形県赤十字有功会　理事に当金庫理事長が就任　〔2006年6月～〕 日本赤十字社　代議員に当金庫理事長が就任 〔2019年2月～〕 ・交通安全お守り（地元の伝統文化の絵柄）を毎年新庄市内小学校の新一年生に贈呈 〔2011年4月～〕 ・「元気で長生き応援定期預金」発売 〔2018年6月～12月〕
教育	**質の高い教育をみんなに** すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	・宇宙飛行士の毛利衛さんによる「宇宙を語ろう」講演会の開催 〔1993年7月〕 ・地元小学生向け「夏休み学習教室」として当金庫6階ホールを2週間開放 〔1998年7月から毎年7月後半〕 ・地元少年サッカークラブ「ACゼーレ」に対する支援 〔2012年3月～〕 ・小学生の時から自分の将来を考えようという『夢をかなえる』という書籍をエリア内各小学校高学年に贈呈〔2015年7月～〕 ・中小事業者向け「経営塾」の開講【山形大学・会議所と共同】〔2016年4月～2020年3月〕 ・文豪・武者小路実篤の書を記した文学碑を新庄市立図書館中庭に寄贈〔2016年5月〕 ・当金庫野球部による中学生に対する野球指導の実施　〔2019年7月～〕 ・『戸沢政盛公（新庄藩初代藩主）物語』を市内の全小中学生・教職員に配布　〔2019年8月～〕 ・「ジモト大学」にて人材育成プログラム「ピーナッツで将来の自分をゲットしよう！」を企画 〔2019年9月～〕 ・当金庫が事務局を務める「新庄小さな親切の会」より地元小・中学校にのぼり旗を寄贈 〔2021年10月〕
ジェンダー	**ジェンダー平等を実現しよう** ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	・女性職員を中心に礼儀作法を学ぶ場としての茶道部活動を推進〔1979年7月～〕 ・新庄商工会議所女性会に対する支援 〔2013年11月～〕 ・女性職員の就業時における服装を自由化 〔2021年11月～〕
水・衛生	**安全な水とトイレを世界中に** すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	・森林保護・海洋資源保護の一環として「しんきん結(ゆい)の森」活動 〔2010年5月～〕 ・水洗トイレ改造等資金融資（外国人誘客施設設備資金融資制度）〔2014年4月～〕
エネルギー	**エネルギーをみんなにそしてクリーンに** すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	・「NPO法人バイオマスもがみの会」を設立しカーボンニュートラル啓蒙活動 〔2004年6月～〕 ・同会による「もがみ自然エネルギー株式会社」設立、太陽光・水力の事業実施　〔2014年6月～〕 ・地元再生可能エネルギー事業（水力発電事業）への支援 〔2021年9月～〕
経済成長と雇用	**働きがいも経済成長も** 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	・山形大学の柴田孝客員教授（当金庫顧問）と連携し取引先のコンサルティング活動　〔2017年2月～〕 （延べ訪問先法人：470社、延べ訪問件数：627件）〔2022年11月現在〕 ・8店舗のうち本店・天童支店以外の店舗で昼休み時間導入 〔2020年9月～〕
インフラ、産業化、イノベーション	**産業と経営革新の基礎をつくろう** 強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	・山形新幹線新庄延伸を記念して『つばさ歓迎定期預金』発売　〔1999年10月～12月〕 ・「ビジネスマッチ東北」（東北27金庫参加）〔2006年11月～〕 ・「新現役交流会」（大企業をリタイアした人材活用）に参加（亀有信用金庫主催）〔2016年5月～〕 ・感情を認識する人型ロボットのペッパーを導入し接客係に配属 〔2016年8月～2020年2月〕 ・城南信用金庫主催「“よい仕事おこし”フェア」（多数の信金が参加し東京国際フォーラムで毎年開催）に参加〔2016年8月～〕 ・仙台市に設置予定の日本を代表する最新設備の次世代放射光について取引先向け勉強会実施〔2019年10月〕

SDGs番号	SDGsの目標	当金庫の取り組み
不平等	**人や国に不平等をなくそう** 国内及び各国家間の不平等を是正する	・クラウドファンディングの「Makuake（マクアケ）」「NACORD（ナコード）」利活用（地域ハンデ解消）〔2017年11月～〕 ・全国に先駆け新庄の商店街にマルチタブレット導入を進めキャッシュレスに対応 〔2017年12月～〕 ・民間都市開発推進機構と共同で「新庄まちづくりファンド有限責任事業組合」を設立し、空き家・空き店舗・古民家をリノベーションすることでゲストハウスや飲食店等として整備・運営する事業者に支援・投資 〔2019年3月～〕
持続可能な都市	**住み続けられるまちづくりを** 包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する	・創業70周年事業として、旧町名と由来を記したモニュメントを60ヶ所建立〔1995年10月～〕 ・同じく創業70周年事業として新庄まつり（ユネスコ無形文化遺産）の20の囃子若連に三味線を寄贈〔1995年10月〕 ・レキシントン新庄（しんきん文化ホール）を建設し、様々なコンサートやイベント等を開催〔1998年6月～〕 ・新庄市内初の本格的ビジネスホテル開業のトータルサポート 〔1999年6月～〕 （企画・設計・建築・オペレーション、資金調達等すべて） ・新庄「小さな親切」の会の設立と事務局運営 〔2005年5月～〕 ・国登録有形文化財新庄エコロジーガーデンやキトキトマルシェにて毎月イベントを行っている若者たちを応援する目的で「キトキトマルシェ応援定期預金」を発売し残高に応じた100万円を寄付 〔2016年8月〕 ・ユネスコ無形文化遺産として「新庄まつりの山車行事」が登録された事を機に、「祝ユネスコ無形文化遺産登録記念定期預金」を発売し、預金残高の0.01%相当の200万円を20町内に10万円ずつ寄付〔2017年8月〕 ・「空き家リノベーションによる新たなネットワークコミュニティ拠点構築事業」を支援 〔2017年9月～〕 ・空中庭園（駅前通り）事業の支援　〔2018年10月〕 ・新庄・最上地域初のコミュニティラジオである「新庄コミュニティFM（通称：あすラジ）」の開局に伴い、当金庫屋上にアンテナを無償で設置 〔2021年8月～〕 ・新庄市の「城下町新庄周遊促進プロジェクト」を推薦し、信金中央金庫「SCBふるさと応援団」より1,000万円の寄付金を新庄市へ贈呈、プロジェクトの推進 〔2022年1月～〕
持続可能な消費と生産	**つくる責任つかう責任** 持続可能な消費生産形態を確保する	・毎月15日のお客様感謝デーに合わせて、ごみの減量化を目的とした商店街清掃活動の実施〔2000年6月～〕 ・全国47都道府県産米をブレンドした日本酒「絆舞 令和」プロジェクトへの協力（城南信用金庫が中心）〔2018年9月～〕
気候変動	**気候変動に具体的な対策を** 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	・「もがみ自然エネルギー株式会社」設立、太陽光事業実施　〔2014年6月～〕 ・温暖化対策や環境・社会の持続可能性への取り組みに特化した資金を調達するために発行される債券「グリーンボンド」、「サステナビリティボンド」への投資　〔2020年3月～〕
海洋資源	**海の豊かさを守ろう** 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	・下村脩教授のノーベル賞受賞を記念してクラゲの水槽展示（本店）〔2014年3月～2016年3月〕 ・珊瑚の成長を見守るための水槽展示（本店）　〔2016年8月～〕
陸上資源	**陸の豊かさも守ろう** 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	・お子様が生まれた記念として「出生記念樹（ブルーベリーの苗木）」をプレゼント 〔2005年7月～2010年6月〕 ・東日本大震災復興支援プロジェクトとして日本の象徴である桜を題材にした小学生対象の「東北・夢の桜街道」絵画コンクールを開催 〔2014年6月～〕 ・「しんきん結（ゆい）の森」の活動として森の下刈り等による森林保全活動 〔2010年5月～〕
平和	**平和と公正をすべての人に** 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	・青少年健全育成の啓発ポスター「幸せは躾から」を制作し、希望のお客様、小学校、公民館等に配布〔2001年9月～〕 ・市民と警察を結ぶ「警察官友の会」（会長　井上理事長）運営〔2006年6月～〕 ・「犯罪被害者支援」の自動販売機設置（飲料1本ごとに10円寄付）〔2019年1月～〕 ・県内の金融機関と連携し、マネロン対策を実施〔2022年1月～〕
実施手段	**パートナーシップで目標を達成しよう** 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	・「国産落花生の新産地プラットフォーム構築」と「ジモト・ソーシャル・イノベーター養成」事業パートナーシップ（日本財団、信金中央金庫、金山町、山形大学、山形県、新庄信用金庫）〔2019年7月～〕 ・最上地域の自治体と地域振興に関する連携協定を締結 大蔵村 〔2013年6月〕 戸沢村 〔2020年10月〕 鮭川村 〔2021年4月〕 ・全国各地の信用金庫との広域連携プロジェクト「ご当地おみやげ取次プロジェクト」に参画 〔2021年2月～〕